



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0025
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第354号

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

基本的なものを再確認しましょう マヘル神父

毎年福岡教区のハンドブックが司教館から送られてきます。信者の心構えの箇所に、私達がイエズス様の弟子として具体的霊的な指導を頂いています。

今回の記事での中にも書かれている「2016年のハンドブック7ページ」を一緒に考えて見ましょう。毎月の維持費の事は、その主目的が、神への礼拝、信徒職及び愛の業、ならびに聖職者や奉仕者の正当な補償なのです。信者は教会の要請に応じて教会を支援する義務があります。収入を得ている信徒は所属小教区に教会維持費を納めます。維持費は収入の3%が目安です。神学生養成費として月一〇三〇〇円を納めます。

皆さんの経済力は、同じではないのですから、%で考えて見て、自分の収入に3%を掛けたら、具体的な数字を計算できます。それが解ってから自分の状態を考えて、神様との祈りの内にどの位、納める事が出来るかを、決めて納めて頂ければいいのです。イエズス様と一緒に決めれば、他の事を考えなくてもいいのです。持っているほとんどの物が神様から頂いたものですから、この維持費は感謝のお返しのお穂です。

教会は建物ではなく、教会は共同体です。キリスト教会は、会社ではなくクラブでもありません。恵まれている人が、恵まれない人

を手伝う。沢山維持費を払える人が、払えない人よりも教会の株を持ったり、教会を支援する権力を持つということではありません。

共同体の為に物を納める、奉仕の精神で他の人の為に自分のタレントを生かしながら、協力する。それが教会の精神です。共同体のリーダーシップを奉仕の精神で努めているから、共同体のために他の人にそのリーダーシップを譲る。先輩達が後輩を応援する、手伝う、褒める精神で、バトンタッチをすべきです。共同体の歴史を見て、神様の御助けを頂いたことを良く味わって、教会の運営を進める事です。信者の皆さんが維持費と献金を良心的に、神様との祈りの内に納めたら、そして神様の助けを信じたら共同体がうまく進みます。

そう言うわけで、毎年3月頃、皆さんに手紙を送りたいのです。その中に来年度(4月～2018年3月迄)の維持費の封筒を同封します。また、今年度維持費を納めていない方で、自分が出来る範囲で、維持費・献金を

世界宣教の日にあたり	2・3面
委員会報告	4・5面
幼稚園から	5面
白濱司教様講演	6面
熊本震災ボランティア報告	7面
お知らせ・教会学校	8面

納めたい方があれば今年度3月決算の前までに納めてください。教会の運営を維持費と献金で運営したいと思います。皆様のご協力

と神様のお恵みのお蔭で、神の国の発展の為に、私達の小さな共同体が頂いた使命を果たすことができます。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

「～世界宣教の日にあたり～『福音の喜び』Part.2」

☆ ☆ ☆ ☆ ☆



10月23日に小田神学生を講師とする大人の日曜学校が開かれました。レジュメも配られましたが、ここでは神学生が、語りかけられた内容にほぼ則して、お伝えします。

本日、10月の最後から二番目の主日は、カトリック教会では「世界宣教の日」と定められています。今回は、この「世界宣教の日」にちなんで、宣教について、皆さんと考えてみるひとときにしたと思っています。最初に、私が宣教についてまとめてきたことをお話しした後で、皆さんといくつかのグループに分かれて、宣教について分かち合いをしていく、という流れにしたいと思っています。

この「世界宣教の日」とは、どのようなものか、カトリック中央協議会のHPから調べました：「世界宣教の日について：世界にはまだキリストを知らない人が沢山います。日本でも私達はキリストを知らない人たちに囲まれて生きています。キリストを伝えることである宣教は、神の子ども、キリストの弟子となったわたしたち皆に与えられている使命です。

「世界宣教の日」は、すべての人に宣教の心呼び起こさせること、世界の福音化のために、霊的・物的援助をはじめ宣教者たちの交流を各国の教会間で推進することを目的としています。(一文省略)日本の教会は、

いまだに海外から多くの援助を受けていますが、経済的に恵まれない国々の宣教活動をさらに支援できるように成長していきたいものです。

【1. 宣教とは何か】

さて、この「宣教」とは、そもそもどういうものを指すのか、何を、どのように伝えていくべきなのでしょう。

「宣教」という言葉を聞くと、さまざまな宣教の手段、方法が頭に浮かんでくるのではないかと思います。信仰について直接、人々に伝えていくという方法もあれば、例えば、教会の行事に知り合いをお誘いすること、信仰について書かれた冊子などを配ること、困っている方々、被災者や難民、家のない方々などを援助することなども、立派なキリストを伝える活動だと思っています。また、教会の集まりをよりよいものとするために、教会のお掃除やお茶の用意など、目立たないところで果たして下さっている働きも、間接的な宣教活動と言うべきものだと思います。また日曜学校で、子供たちに信仰を伝えていくことは、教会の外への、いわば横に広がる宣教に対し

て、縦に連なる宣教というふうに捉えることも出来るのではないかと思います。このように宣教の手段、方法は様々な形があると思われます。

ただ、ここで一つ心配なことは、この宣教について、手段、方法、あるいは結果などという、目に見える人間的な次元だけで判断しようとするならば、それは「宣教」の本質を見失ってしまうとの懸念です。その活動によって、何人教会に人を連れてくることできたかとか、或いは、献金はどの程度集まったかなど、そのことを第一義として、宣教活動の意義や成否を判断するとき、それはキリストを伝えることから外れてしまうことになるのです。

ここで一つのエピソードなのですが、私は、東京で大人になってから洗礼を受けた者なので、長崎のクリスチアンの信仰というのを知ったとき、とても憧れと尊敬を感じました。

しかし、よくよく考えると不思議に思うこともありました。それは、彼らが信仰を持つことによって、この世的には失うものばかりで幸せになれないどころか、迫害や拷問など、悲惨な目にあう危険も負わなければならなかったということ、それなのになぜ、そのような目にあってまで、この世的には不幸しかもたらさなかった信仰を、守ろうとしたのか、ということです。それを考えていくうちに、一つの答えとして、彼らは、この世での幸せや充足感をはるかに超えた、キリストの光や幸福を、そこに見出していたのではなかったかということが浮かんできました。そして、その光は、この世の他のどんなものにも見出

すことのできない、特別な光であったからこそ、どんなにこの世で、失うもの、苦しむことが大きくても、手放すことができなかったのではないかと思われました。

すなわち、ここで浮かび上がってくることは、宣教とは、この世的な幸せや充足を超えたキリストの光、キリストの価値観を伝えていくことにあるのです。私達の伝えるようにする信仰が、この世のどんなものとも置き換えられない、他にはない特別な光があるからこそ、どうしても伝えなくてはならないという、宣教の意義が見出されるのです。

この福音宣教について、フランシスコ教皇は、「福音の喜び」の本の中で以下のように述べられております。(なお、ここで前ベネディクト 16 世教皇の言葉を引用させていただきます)

112「最初の言葉を発するのは神です。神が真のイニシアティブを取り真の働きを始めます。私達はその神のイニシアティブに加わって初めて、福音宣教の働きができるのです。」

福音宣教を、まず何よりもキリストの光、キリストの価値観を伝えるものであるとすると、自ずと、その活動の主は、神様であり、常に、神様に導きと保護を願い求める態度になるのではないかと思います。

【2. 人間の望み、神の望み】、【3. 人々にキリストを紹介していくこと】は次回、お伝えします。

委員会等報告

2016年11月分

11月度小教区委員会議事録(抜粋) 11月6日

1. 行事予定

- 12月2日(火)共同回心式
(10:00、19:30の2回)
- 12月11日(日)黙想会(昼食をはさみ講演)
講師：來住神父様(黙想の家)
- 12月18日(日)馬小屋飾りつけ、街頭募金
- 12月24日(土)降誕祭夜半ミサ
キャンドルサービス 16:30~17:30
クリスマスキャロル 19:00~
クリスマスミサ 19:30~
ミサ後パーティー & 福引
- 12月25日(日)降誕ミサ (10:00~)
ミサ後パーティー 宣教について考える会
「幼稚園との協働について考えよう」
- 12月31日(日) ホーリーアワー
23:00~24:00)
- 1月1日(日)新年ミサ 0:00~1:00
元旦ミサ10:00~
ミサ後車の祝福、成人式

11:00~12:00 芦屋、赤間、海老津
12:00~13:00 遠賀、中間、高須・
青葉
13:00~14:00 梅ノ木、折尾、吉田
都合の合わない方は、それぞれ協力できる
時間で参加して下さい。

募金は熊本地震支援に送ります。
(3)キャンドルサービス 12月24日(土)
16:00~17:30
幼稚園児、小学生を対象に行います。サン
タさんからのプレゼントもあります。
友達も誘って参加ください。信徒の皆さん
も参加、お手伝いをお願いします。

(4)宣教について考える会
12月25日(日)12:00~13:00
「幼稚園との協働について考えよう」
幼稚園の先生方も参加します。教会と幼稚
園が一緒になって活動することにより、親睦
を深めるだけでなく、外に向かった大きな力
になっていくと思います。是非参加ください。

(5)営繕報告

御堂入口前フロア変形部およびキッチン
雨漏れ部の補修工事が完了しました。
305,000円かかりました。見積に当たって、
皆様からいくつか業者を紹介いただき助か
りました。ありがとうございます。御堂、信
徒会館のクーラーも数台故障しています。
電気工事に詳しい方がおられましたら、情報
をお寄せください。

(6)熊本地震支援ボランティア

今後も農業ボランティアを中心に継続して
いきます。

支援先窓口：西原村百笑(ひゃくしょう) 応
援団

2. お知らせ

- (1)待降節 黙想会 12月11日(日)
講師：黙想の家 來住神父様
9:30~ミサ
10:45~12:00 講演
12:00~12:45 昼食 希望者には弁
当を手配します。
(500円/個、費用は自己負担)
12:45~13:30 講演
- (2)街頭募金 12月18日(日)
• マックスバリュにて実施
(11:00-14:00)
• 担当地区と時間割は下記の通り、近隣の地
区を遅い時間帯に配置させて頂きました。

熊本地震支援募金は、教区を介さず、直接、西原村百笑応援団に手渡すこととし、地元に着した活動としていきます。

(7)五島巡礼 2017年 5月3日～5日

宿泊先：有川ビーチホテルを予約済。

8,640円/1泊

マイクロバス 29人乗り1台手配。

水巻教会を 朝6:00に出発。フェリー-佐世保9:30発～有川12:20着

上記前提で、自己負担28,280円/人となる見込み。(教会負担100,000円として)数名定員オーバーの場合は自家用車1台追加することも考えます。

3. 地区集会報告

●梅ノ木地区

- ・黙想会は日曜日が良い
- ・心のともしびを一般家庭に配布してトラブ

ルになったこともあると聞いた。きちんと会って、個々の状況を確認して配布する必要がある。

・きちんと説明できるだけの知識をもった人が配布の方が望ましい。宣教委員会などを主体に対応して欲しい

●中間地区

・ころのともしびは、個々の状況を確認して配布予定

・信者の声を収集するためアンケートを実施して欲しい→実施の方向で検討する(役員会)
・死者のミサ、諸聖人のミサは夜も実施して欲しい。

来年は実施することとしたい。(マヘル神父)

●赤間地区

- ・黙想会は日曜日が良い
- ・クリスマス用に33部心のともしびを追加してほしい。友人に配布予定。



水巻聖母幼稚園から12月のお知らせ

いつも水巻聖母幼稚園へのお祈り・ご協力ありがとうございます

幼稚園でも待降節を、イエス様をお迎えするために、子ども達と祈りながら過ごしています。クリスマス教会の皆様とご一緒できることを本当に嬉しく思います。

☆クリスマス会 (教会学校の子供と卒園児とお友達のクリスマス会)

日時：12月24日(土)16時～17時30分 場所：教会・信徒会館

☆「みんななかよく」のクリスマス会 (未就園児のお友達と楽しく過ごします)

日時：12月20日(火)10時30分～12時

☆幼稚園のクリスマス会 (園児でお祝いします)

日時：12月21日(水)

☆クリスマス発表会

日時：12月10日(土)9時～

☆新入園児全体説明会

日時：12月17日(土)9時～10時

今年もお世話になりました。来年も宜しく願います。

園長 Sr.松川明子 職員一同

白浜司教様講演 「典礼奉仕の心構えとその養成」(9月22日、大名教会)

9月22日に福岡教区典礼研修会が開催され、水巻教会からは6名が出席しました。広島教区司教となられたばかりの白浜新司教様の講演後、同司教様の初ミサも行われました。

1. 典礼からの要求

教会の働きは3つに整理されます。(プロテスタントのカルピンが最初に、この3つの活動に分けた) キリストの祭司職への参与=教会活動であり、(ア)預言職 宣教活動、(イ)祭司職・典礼活動、(ウ)牧職 司牧活動。

バチカン公会議以前は、典礼は祭司の活動とされていた。しかし今は積極的な信徒の参加を促している。信じる人々が一致して1つの目標に向かって活動していくことが大事。私たちは神とつながっている。ミサの中で恵みをいただいて派遣されていく。共同体として皆で活動することが大事である。

2. 典礼祭儀の基本的な要素

典礼の基本的な要素は①集う、ともに祈る(歌う)→受付、案内、進行、聖歌、②神のこたばを聞く→朗読、共同祈願、③キリストのわざを祝う→奉納、侍者、聖体授与④派遣→お知らせ、活動案内。

ここで、毒蝮三太夫師匠が大事にしていた“3かけ”の心遣い、・気にかける・声をかける・手をかける(触れる)にひっかけおもしろく解説頂きました。

①集う→イエスが気にかけてくださっている。招かれている。集うところから典礼は始まる。イエスは信者が2人、3人と集っているところに必ず近づいて来られる。共

にいて下さると約束された。②神の言葉を聞く→声をかけて下さる。③キリストのわざを祝う→キリストのわざが目に見えるし(パンとブドウ酒)を通じて手に触れられるものとなる。④派遣については“解散”を意味するものではない。神を体の内にいただいて派遣されることを強く意識するようにと強調されました。

3. 典礼奉仕グループの要請

①ミサ→案内、解説(司会)、朗読、詩編歌唱者、共同祈願、奉納、侍者、聖歌奉仕、指揮、オルガニスト、香部屋、生け花

②結婚式→結婚講座への協力、結婚講座への協力、香部屋、侍者、案内、進行(司会)、朗読、聖歌、オルガニスト

③病者の訪問・病者の塗油→道案内(同伴)、聖体奉仕者、共同祈願、聖歌奉仕

④葬儀→葬儀社との連携、受付、案内、進行(司会)、朗読、献花準備、オルガニスト、聖歌奉仕

(水巻教会は上に挙げられた例は、ほとんど揃っていると思います。)養成が目に見えるかたちの工夫として主任司祭が任命書(例えば3年間)を手渡してはどうか。

4. ミサの表現手段の工夫、5. ミサにおける具体的奉仕、6. 質問コーナーは次号へ掲載します。



熊本震災ボランティアの記録

山口一隆

10月22～23日の両日にわたって、熊本震災ボランティアに行ってきました。

今月号で、その詳細を紹介するつもりだったのですが、紙面の都合上来月号に回さざるを得なくなりました。

来月号では12月10～11日に予定されている「小教区の集い」の収益金の贈呈の様子なども合わせて紹介していくつもりです。

とりあえず、写真のレポートを掲載します。



西原村災害支援ボランティアセンター



倒壊した住宅



ボランティア作業の1つ、芋のヘタ切り



水巻教会の参加者たちとボランティア先の農家の方々

12月 お知らせ

★共同回心式★

日 時 12月2日(金)
午前10時～ 午後7時30分～
場 所 水巻教会

この日が都合の悪い方は、ミサ後にもゆるしの秘跡を行います。なお、他の教会の共同回心式の日程は、「信徒協だより」に載っていますので、ご覧ください。

★降誕前夜祭・降誕祭ミサ★

12月24日(土) 午後7時30分～
(午後4時30分～ キャンドルサービス)
(午後7時～ クリスマスキャロル)

※キャンドルサービスの詳しい内容は4面をご覧ください。

12月25日(日) 午前10時～

★深夜ミサ・元旦ミサ★

12月31日(土)午後11時～
ホーリーアワー(祈りの時間)
1月1日(日)午前0時 深夜ミサ
午前10時 元旦ミサ

★特別献金★

10月23日 世界宣教の日献金
31,600円
ご協力、ありがとうございました。

★レプトン会からのお願い★

伊万里のトラピストのクッキーとミサワインの申し込みを12月4日(日)まで受け付けます。売上金はペルーへの支援の一部となります。申込表は聖堂の後に置いてあります。品物は12月24日クリスマスミサ後にお渡しします。

人ひと

【帰天】安らかに！

11月2日
◇田口 千美子さん (梅ノ木地区)
11月17日
◇松山 イヨさん (高須・青葉地区)

教会学校の ページ

10月23日

参加者 山田 蓮さん

前回の復習をし、ロザリオを使いながら光の神秘を勉強しました。
最後に、アヴェ・マリアの祈りをしました。